

**第3次宇都宮市環境基本計画
(後期計画)**

**令和3年3月
宇都宮市**

はじめに

私たちのまち宇都宮市は、遠く日光連山を望み、清らかな鬼怒の流れや緑豊かな丘陵地、田園の緑に象徴される豊かな自然の恵みを受け、先人のたゆみない歴史の積み重ねにより、二荒の森を中心として栄えてきました。

この恵み豊かな地域の環境と、かけがえのない美しい地球を将来にわたって守り、育み、引きついでいくことは、私たちの大きな責務であります。

そこで、本市においては、人と自然が共生し、環境への負荷[※]の少ない、持続可能な「環境都市」を実現するため、平成13年10月に「宇都宮市環境基本条例[※]」を施行し、平成15年2月に「第1次宇都宮市環境基本計画」を、平成28年3月には「第3次宇都宮市環境基本計画」を策定し、継続して様々な環境施策に取り組んできたところであります。

このような中、本市における環境課題については、進行する地球温暖化への対応や、災害に強く快適な日常生活に向けた市民ニーズ、また、人口減少社会[※]などに対応した本市のまちづくりへの環境面からの貢献など、ますます多様化・高度化しております。

こうした状況に対応するためには、様々な分野と連携した環境施策の展開が重要となっており、市民・事業者・行政が共通の認識を持ち、連携しながら環境施策を総合的・計画的に推進する必要性が高まっています。

今般、「第3次宇都宮市環境基本計画」の計画期間前期が終了するにあたり、これまでの施策の達成状況や本市を取り巻く課題などを踏まえた中間見直しを実施し、時代の要請に迅速かつ的確に対応できるよう、新たな視点に立って「第3次宇都宮市環境基本計画後期計画」を策定いたしました。

今回の計画では、新たに「環境未来都市うつのみや」の実現を掲げ、脱炭素社会や循環型社会[※]の構築に向けた実効性の高い施策・事業を計上いたしました。特に、「地球環境分野」においては、再生可能エネルギー[※]の更なる普及促進や水素をはじめとした環境技術の積極的な活用を掲げています。

また、気候変動[※]の影響と考えられる局地的豪雨や大型台風などの自然災害を受け、「気候変動への適応策の推進」として、本市として重点的に対応すべき取組などを盛り込んだところです。

今後、この計画を基に、「環境未来都市うつのみや」の実現に着実に取り組んでまいります。

結びに、計画の策定にあたりまして、貴重な御意見を賜りました宇都宮市環境審議会の委員をはじめ、パブリックコメントによりご意見をお寄せいただきました市民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和3年3月

宇都宮市長 佐藤 栄一

目 次

第1章 第3次宇都宮市環境基本計画後期計画の概要

第1節 策定の趣旨	1
第2節 計画の基本的事項	2

第2章 環境行政の現状と課題

第1節 国内外の動向と課題	8
第2節 宇都宮市の現状と課題	16
第3節 前期計画の評価と課題	27
第4節 意識調査結果と課題	34
第5節 課題のまとめ	37

第3章 計画の目標と環境都市の姿

第1節 計画の基本理念	39
第2節 計画の目標	41
第3節 環境都市の姿	41

第4章 推進方針と施策体系

第1節 推進方針の考え方	48
第2節 推進方針	49
第3節 施策体系	50
第4節 施策の推進	51

第5章 分野別的基本施策

1 地球環境	53
2 廃棄物	65
3 自然環境	73
4 生活環境	81
5 人づくり	87

第6章 計画の推進

第1節 各主体の役割と連携	92
第2節 推進体制	93
第3節 評価の公表	94

資料編

第1節 環境配慮指針	95
第2節 計画策定体制	113
第3節 計画策定経過	115
第4節 宇都宮市環境基本条例	116
第5節 用語解説	120

コラム

持続可能な開発目標（S D G s）	7
海洋プラスチックごみによる海洋への影響	11
宇都宮市が目指す公共交通ネットワーク	22
宇都宮市における再生可能エネルギーの導入状況	38
「持続可能な都市」と私たちができること	40
宇都宮市もったいない運動市民会議の活動	47
自立分散型エネルギー	52
第3次宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン	56
これからの住宅のはなし	57
次世代自動車による二酸化炭素排出量の削減	60
水素エネルギーを活用した新たな環境技術	61
地域新電力による地域の活性化	62
気候変動による影響と適応策	64
ごみ分別アプリ「さんあ～る」	67
食品ロス問題	69
クリーンセンタ－下田原	72
私たちの暮らしと生物多様性	80
環境協定ってなんだろう？	86
クールチョイス	91